

星祭

ほしまつり
人も星も天の巡りに合わせて動きます。
悪いことを良いことに変えられるよう
星を供養し、
除災延命を
御祈願いたします。



12/21
土曜日
11:00~

お申込みの方には年齢と名入りのお守りをお授け致します。是非ご家族でお申し込みください。

【寺務所にて受付中】講金 **2,000円** (一体追加毎500円)

おまえだちじゅういちめんかんぜおんぼさつごかいひ 御前立十一面観世音菩薩御開扉

当山秘仏である御前立十一面観音菩薩様を内陣で参拝できます。
間近でお参りできる年に一度だけの貴重な機会ですので是非お参り下さい。

12/8
日曜日
9時頃~14時

朝まいり会

12月1日~7日 午前8時~8時半 会費:500円也

皆様と一緒に「大聖歓喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日参加されなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

本堂煤払い

12月6日(金) 正午より

毎年恒例の煤払いを行います。
毎年7日に行っておりますが、本年は土曜日にあたり多くの参拝者が訪れることを考慮し、前日の6日に行います。前中で閉堂致しますのでお参りは午前中にお済ませください。

写経の会

12月8日(日) 午前10時・午後1時 会費:500円也

お経を一字一字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。
始めてご参加される方は開始15分前にお越しください。

合同大般若法要

12月25日(水) 午前11時 法要料:5000円也

皆様と一緒にお上げする御礼の法要です。

納めの法要

12月31日(火) 正午より

この一年のご加護を感謝し、本堂をはじめ、境内の各末社にお参り致します。

要予約 坐禅の会

12月の坐禅の会は中止です。次回の開催は年明け1月25日です。

ライブ配信のご案内 (配信QRコード)

御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



待乳山聖天

いちよう

「莊嚴」



寺院に一步足を踏み入ると、独特の
雰囲気を感じることがあると思います。
この厳かさは、一般的には『莊嚴』と
いいますが、仏教では『莊嚴』(しょうごん)と読み、仏の説法の場所つまり
本堂を美しく飾ることや、お供え物を
することとされています。
当院においての莊嚴はまず代表的な
ところで外陣と内陣の境に扉が左右にあ

り、灯りを灯す雪洞、蠟燭をお供えする燭台のこれらはそれぞれ左右対称に置いてあります。
対称的な形というのは、人間の脳に直感的に、安心感や美しさの感覚を引き出す傾向にあるとい
われています。

さらに内陣の奥の方に目を向けると、御祈禱や法要を行う際に用いる様々な仏具が整然と並び、
仏器は煌びやかに光っております。仏器とは仏様へのお供えに用いる器ですから、我々お仕えす
る身としては毎月お磨きをし、特に気を配っているところです。

ご信徒の皆様は聖天様を参拝するにあたって、大根やお花、蠟燭等をお供えされることでしょう。
その際、両手を使って丁寧に供えをしたり蠟燭等はまっすぐ立てるなど意識的に莊嚴されると
よいでしょう。

それらの整然とした莊嚴なお堂の景色が何気なく視覚に入ったり、お供えの莊嚴などを意識的
に行うことで、お参りされるご信徒の皆様のみならず、祈願させていただく我々僧侶も安心感
を得ることができ、心を落ち着かせて聖天様へ手を合わせる事が出来るでしょう。

お寺の莊嚴は神仏に喜んでいただく為の環境作りです。神仏に喜んでいただけるような気持ち
でこれを参考に自宅の身の回りの掃除や整理整頓を行うことで自らが過ごしやすい環境を作っ
てみてはいかがでしょうか。今年も残すところあとわずか。清らかな気持ちでどうぞ新年をお迎
えください。

本堂部長

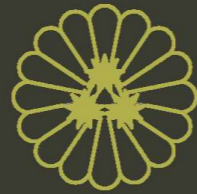
関口真允



用語

コラム

「星信仰」 泉水堯有



12月21日冬至の日には星祭がございます。星は人の運命や寿命などを司るとされ、その星を供養することで翌年の災難を除け開運、延命を祈願いたします。

星といいますと我々天台宗の宗章は三諦章といい、16枚菊に3つの星で構成されております。「天台」の天はそのままでございますが、台という字には星という意味がございます。この星ですが天台山の真上に存在し北極星を支える上台、中台、下台の三つを指しているとされております。これが3つの星の由来とされております。

時計や羅針盤もない時代に海路や陸路などを利用し移動する際にはただひたすら北極星や北斗七星、月の満ち欠け、太陽の軌跡などを解説し時間や現在地を判断し、進路の方向性を見出したり、農漁業の作業、収穫の時期などを判断してきました。

このように人々にとって重要な役割を担ってきた星を供養し息災、増益、延命を祈念するのがこの星祭の大意であると思います。勿論、今年大厄や前後厄に当たらずとも、人にはそれぞれの生年月日により影響を受ける星があるので皆様の御家族一人一人の星を供養させていただき、来たる一年を安心して過ごしていただきたいと思ひます。



令和七年正月行事案内

◆正月供物受付中

本堂や境内各末社にお餅とお神酒などのお供え物を寺務所にて受付しております。



◆正月特別祈祷 祈祷料：3,000円也

皆様の開運を御祈願いたします。元日、二日、三日の三日間、午後一時、二時、三時の合計9回執行いたします。

◆開運お屠蘇接待

三が日の11時から15時の間、本堂外陣におきまして信徒総代、世話人によるお屠蘇の接待がございます。お参りがお済みになりましたら是非お召し上がりください。



◆毘沙門天特別拝観

1月20日頃まで

内々陣の左手にお祀りしている毘沙門天様を皆様がお参りできるよう正月期間は特別に内陣にお祀りいたします。この機会に是非お参りください。

《ご報告》

「朝まいりさんぽ会」

10月6日(日)さわやかな秋の気候の中、朝まいりさんぽ会ご参加の方々と人情の町四つ木を散策しました。四ツ木駅から荒川、スカイツリーを眺めながら木下川薬師浄光寺へ向かい、護摩祈祷に参加しました。参拝後は、割烹「玉子家」にて昼食を頂きました。食事を通して朝まいり会会員同士の親睦も深まり、楽しい時間を過ごせました。



「歓喜講」

10月20日(日)ようやく暑さも和らぎ秋晴れの中、歓喜講大祈祷会を執行いたしました。多くの参拝者が来られ、境内は大いに賑わって参りました。法要終了後には信徒会館大広間にて住職による信仰についての法話が行われました。

「埼玉天台仏教青年会研修会」

10月21日(月)埼玉教区の若手僧侶で構成されている埼玉天台仏教青年会の皆様が研修のためご来院されました。住職により境内を案内され、外陣でお勤めをした後に内陣を拝観されました。



「七五三(10月度)」

ご宝前にて行者より無病息災を祈念し、加持を授かりました。健やかなご成長をお祈り申し上げます。



10月11日 脇村将生さん(5才)
(脇のつくりは刀)



10月27日 長田有未さん(3才)

ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壱万二千元(一週間)
浴油祈祷 四千元(一週間)
華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

